



町長日誌 No.49

町長日誌の第49号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

8月17日(金) AM8:20

役場の裏玄関前に大きなバックを肩から下げた子供たちと見送りのお母さんたちが数名集まっています。どうやら、バレーボール少年団が試合に出かけるようで、指導をされている方の車に分乗して出発しました。スポーツ少年団は、野球、バレーボールを始め10種類の団が結成され136名の子供たちが加入しています。それぞれ愛好者の皆さんが指導員として、お仕事の傍らボランティアで子供たちに技術向上は勿論のことですが、スポーツを通じての団体行動や仲間作りなどの社会教育にも大きなご協力を頂いています。この紙面をお借りしてお礼と感謝を申し上げます。この様な少年団の育成指導などは目立たないことですが、実は、町づくりにおける「協働」の最たるものです。自らの人的財産（スポーツの技術）を次世代に継承し育てていく、しかもボランティアで行う。そして教えられた子供たちが大人になり、また子供たちに教える。この繰り返しは町づくりの基本と私は考えます。

8月2日(木)

紋別市で西紋5市町村の首長会議が行われました。議題は「広域ゴミ処理」についてです。この問題については、昨年4月に5市町村広域事業として行おうとしましたが紋別市の財政負担が大きすぎるといって一時協議は中断。その後、秋になり産業廃棄物処理業者に産廃と一般ゴミを一緒に焼却処理させる「民設民営方式」が安価で最善の方法であると紋別市から再度提案がありましたが、雄武町は水産系のゴミ(蟹ガラ・ホタテウ等)の焼却処理は不可能として離脱、その後、滝上町もしばらく様子を見たいとして事実上の離脱となり、一方、興部町・西興部村は紋別市がこの処理方法の精度を高めるための調査の結果を待つことになりました。しかし、今年4月になって「提案業者から出来なくなったとの連絡があり市として断念せざるを得なくなった。出来るだけ早く別の提案を行うので待ってほしい。」とのお話がありました。今回からは網走支庁の担当者も協議に参加するとの事ですが、猫の目のようにクルクルと変る紋別市の提案に4町村は対応に苦勞をしていますが、全ての住民が関わる非常に大切な問題ですので、どの町村もとにかくテーブルについてしっかり協議を行うことになりました。

8月11日(土)

3年前の夏祭りに大相撲の旭天鵬関を始めとする大島部屋一行が本町を訪れ朝稽古やちゃんこ鍋などで交流していただいたことを皆さん覚えてますでしょうか？今回、旭川市で夏の巡業場所が5年ぶりで開催されたのですが、主催者で大島部屋旭川後援会の島田会長さんのご好意により特別に興部町の高齢者36名の皆さんがご招待を頂きましたので、町はバスを用意して送迎をいたしました。私は、入場券を買って観戦させていただきましたが、横綱白鵬の土俵入りやぶつかり稽古、初っ切りそして取り組みを堪能させていただきました。私も体は大きいほうですが、お相撲さんに比べればとてもスマートに見えました？参加された皆さんも目の当たりにお相撲さんを見られ、大雪アリーナはとても暑かったですが良い思い出になったと思います。特にご配慮いただいた大島部屋興部後援会の岩田さん始め皆様に感謝申し上げます。「ありがとうございました。」

暑い暑いと言っていたら15日の夕方から急に温度が下がり9月下旬の気温になっているようです。この時期、太平洋戦争に関する番組がテレビを独占するのが恒例ですが、私はあまりにも内容や時代考証そして役者の演技が下手なのでほとんど見ません。しかし先日、あの「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である水木しげるさんが、徴兵されラバウル島の最前線で左腕を失いながらも奇跡の帰還をしたNHKのドラマを偶然見ました。自分たちの立場を守るため無理やり無駄な玉砕を命じる軍隊上層部のおろかさを水木さんの体験を通じて描いたドラマでした。役者の熱演もあり私はドラマを見ながら、一体、靖国神社に奉られている英霊のうちどれだけの人が無謀な上層部の作戦・命令で命を落とされたのだろうかと思い、靖国に参拝した、しないで争っている某国の為政者たちを見る時、何とも言えない気持ちになってしまいました。涼しくなると暑さ疲れが出ますのでご自愛ください。では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.lg.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。